

近代日本文化研究 II

科目ナンバリング JLT-102
必修 2単位

濱田 陽

1. 授業の概要(ねらい)

日本列島において十二支動物は、千数百年にわたって時間や方位の把握に用いられてきた。十二支の時空のシステムは数字の反復や清算ではなく、玄妙に変化する地球、太陽、月などの自然と生きものや人の関係として展開してきた。

列島に伝承された神話、物語、民俗、宗教などを考察し、個性あふれる十二支動物を導き手として、生きとし生けるものが織りなす日本文化の時空に分け入り、伝統文化と近代文化双方の知識を培いながら伝統の日本、近代日本、現代文明がはらむ課題を深く学ぶ。

2. 授業の到達目標

日本文化への多様な視座を養い、講義・教科書の内容をふまえて自身の感想を展開し、内容の深い考察をまとめる思考力、文章表現力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

出席、授業内期末試験により総合評価

*試験テーマは最終講義日2週間前に発表予定

4. 教科書・参考文献

教科書

濱田陽 『日本十二支考 文化の時空を生きる』(2017年1月刊) 中央公論新社

*春学期の近代日本文化研究 I から引き続き、授業、期末試験で必携として活用する。

5. 準備学修の内容

予習では半分程度理解を目安に教科書の授業予定の章を通読しておくこと。復習では授業中に線を引いた箇所とその後を中心により深い理解に至るよう再読し、教科書の余白に自分の考察を書き込んでいくこと。これらが期末試験の準備にもつながる。

6. その他履修上の注意事項

「生きもの」をテーマに日本文化の様々な姿にふれていくため、時間をかけて一步一步理解を深めていって欲しい。

7. 授業内容

- 【第1回】 第二部第五章 辰-龍 激情を受けとめる／龍を失う／意味の方法
- 【第2回】 第二部第六章 巳-蛇 大地、海、空／いのちと環境／生きた尺度
- 【第3回】 第二部第七章 午-馬 日本馬の魂／時空を凝縮する／愛する理由
- 【第4回】 第二部第八章 未-羊 羊の影／変換力をあこがれ／ひつじの謎
- 【第5回】 第二部第九章 申-猿 近い親しさの畏敬／誇り高い自由／古代人の創造力の新鮮
- 【第6回】 第二部第十章 酉-鶏 勇敢な鶏の居るところ／たまご、ひよこ、恋するにわとり／神をも動かす声
- 【第7回】 第二部第十一章 戌-犬 ともに渡り、ともに生き抜く／会いたい、会えない想いを超えるとき／いつの日か花を咲かそうよ
- 【第8回】 第二部第十二章 亥-猪 野生の猪に祈る／循環する亥／山の神としての猪
- 【第9回】 第三部第一章 十二支の潜在力
- 【第10回】 第三部第二章 世界の文化へー未来の十二支
- 【第11回】 第三部第三章 文化学への関心
- 【第12回】 第三部第四章 存在と超越性
- 【第13回】 第三部第五章 復活に気づく
- 【第14回】 試験テーマ解説
- 【第15回】 全体講評、教科書による授業内期末試験